

地域と連携した
緑の道づくり

国土交通省 中部地方整備局
飯田国道事務所

〒395-0024
長野県飯田市東栄町3350番地
電話 (0265) 53-7200 (代表)
ファックス (0265) 53-7210
E-メール iikoku@cbr.mlit.go.jp

飯田国道 NOW

飯田国道事務所からのお知らせ

平成24年10月31日

飯田市通学路安全点検の中間報告について

～モデル地区の点検結果及び安全対策～

1. 概要

飯田市通学路安全検討委員会は、飯田市内小学校区の通学路安全点検を行い、モデル地区とした3小学校区について危険箇所の改善に向け対策案をまとめました。
詳細は下記及び別紙のとおりです。

2. モデル地区

いがら かなえ やまもと

伊賀良小学校区、鼎小学校区、山本小学校区

3. 点検箇所数及び改善検討結果

別紙のとおり

4. 飯田市通学路安全検討委員会 構成機関

飯田市教育委員会、飯田市、飯田警察署、長野県飯田建設事務所、
国土交通省飯田国道事務所

5. 記者発表資料 配布先

飯田市役所記者クラブ

6. 問い合わせ先

飯田市通学路安全検討委員会事務局

飯田国道事務所

副所長 唐澤 良治 管理第一課長 森 匡

TEL 0265-53-7205 FAX 0265-53-7212

E-Mail : iikoku@cbr.mlit.go.jp

飯田市建設部

土木課長 田見 進

TEL 0265-22-4511 FAX 0265-23-4414

飯田市通学路安全点検の中間報告について ～モデル地区の点検結果及び安全対策～

1 趣旨

飯田市通学路安全委員会は、ここにモデル地区（伊賀良小学校、山本小学校、鼎小学校）について点検結果及び安全対策をとりまとめたものである。今後は、これらを踏まえ、飯田市全体（モデル地区を含む）の通学路の安全対策をとりまとめていくものである。

また、本委員会は、とりまとめた安全対策について、飯田市、飯田市教育委員会、道路管理者、道路交通管理者等関係機関に助言を行い、できる限り速やかに実施することを要請するものとする。

2 点検方法及び結果

モデル地区の小学校の通学路について、飯田市、飯田市教育委員会、国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所、長野県飯田建設事務所、飯田警察署、学校、住民の担当及び関係者が合同で55か所を点検し、約40か所について安全対策が必要であると確認した。

また、現在、飯田市全体で229か所の点検が完了し結果をとりまとめている。

3 安全対策（モデル地区）

本委員会で決定したモデル地区の通学路の安全対策は、歩道・路肩の設置・拡幅、ラバーポールの設置、交差点等のカラー舗装、路面表示等を行うものとする。（別表のとおり）

これら危険箇所において、安全対策が完了するまでは、特に児童への安全教育、注意喚起看板の設置、ドライバーへの交通マナーの啓発、交通規制等を重点的かつ積極的に行い、児童の通学の安全を確保するものとする。

なお、本モデル地区の安全対策は、飯田市全体の安全対策を作成するに当たり必要があれば改善するものとする。

4 今後の委員会の活動

飯田市全体の通学路安全対策をとりまとめ、関係機関に助言し、実施を要請する。

関係機関が作成した実施計画及び実施状況を確認し、必要に応じて助言及び要請等を行うなどフォローアップを行っていくことにしている。

点検箇所数及び改善検討結果

学区名	点検箇所	安全対策 必要箇所
飯田市内 全小学校区	229箇所	確認中
うちモデル地区(伊賀良、鼎、山本小学校区)	55箇所	40箇所

改善検討項目		対策済	対策予定	例示箇所番号
歩道等の 確保	1 歩道の設置・拡幅	3箇所	9箇所	④⑥⑦
	2 路肩(路側帯)の設置・拡幅		9箇所	⑤
	3 立体横断施設(歩道橋等)の設置			
	4 無電柱化			
	5 自転車通行空間の整備			
	6 踏切の拡幅			
歩車道 境界の 明示	7 防護柵の設置			
	8 縁石ブロックの設置			
	9 路側帯のカラー舗装化			
	10 車道分離標(ラバーポール)の設置		4箇所	①②⑧
	11 外側線の高度化(高輝度化、リブ付け等)		7箇所	
車両の 速度抑制	12 ハンプ(イメージハンプを含む)の設置			
	13 狭さく(イメージ狭さくを含む)の設置			
	14 シケインの設置			
ドライ バー への注意 喚起	15 段差舗装(波状舗装を含む)			
	16 交差点等のカラー舗装化			
	17 警戒標識、表示等の設置		11箇所	
	18 視線誘導標等の設置			
維持管理	19 植栽の剪定		4箇所	
	20 占用物件の適正化			
その他	21 交差点改良		8箇所	
	22 視距改良			
	23 道路反射鏡の設置			
	24 道路照明・防犯灯の設置		3箇所	
	25 バリアフリー化			
	26 水路への転落防止柵		5箇所	③
	27 側溝蓋設置		4箇所	
合計67箇所		3箇所	64箇所	

※合計数は、「交通安全指導等ソフト的な対策」は除きます。

※同一箇所でも複数の対策を行う箇所もあります。モデル地区の安全対策箇所数(40箇所)と対策済・対策予定項目合計(67箇所)は一致しません。

【モデル地区内】通学路の安全確保のための改善対策等検討資料(例示)

改善対策検討結果のうち、各学区の対策例は以下のとおりです。

番号	学区名	点検箇所	左記の箇所の現況(問題点等)	安全対策
1	伊賀良小学校	国道256号 北方会館前	交通量が多く、横断歩道を渡ろうとしても止まってもらえない。ガードレールがなく、ポールが立っている区間あり。	ガードレールを設置すると歩道幅員が確保できないためポールの補修 児童への交通安全教育及び交通安全指導
2	伊賀良小学校	国道153号 中村交差点～飯田インター西交差点	歩道が狭いため、傘をさすとトラックに引っ掛けられる危険がある。	歩道と車道との境を明確にして、ドライバーに注意喚起を促すために歩車道境界ブロック上にラバーポールを設置 児童への交通安全教育及び交通安全指導
3	伊賀良小学校	市道1-33号線 新井川 山本長佐エ門碑～農免道路区間	川沿いに200mほどフェンス等のない区間があり、水量も多く危険。	川への歩行者の転落を防止するため下流側よりフェンス設置実施中 児童への交通安全教育及び交通安全指導
4	鼎小学校	市道1-28、2-94号、鼎126号線 名古屋神社前交差点	交通量が増えているが見通しが悪い。	歩行者を早めに確認できるように待合場所を拡幅 児童への交通安全教育及び交通安全指導
5	鼎小学校	市道1-79号線、国道153号名古屋中央交差点	交通量が多いにもかかわらず、歩道・道幅が狭い。	水路の有蓋化を実施して市道の歩道を確保 児童への交通安全教育及び交通安全指導
6	鼎小学校	県道青木東鼎線 上山コミュニティー広場前	交通量・スピードを出す車が多くなったが、信号機付きの横断歩道がないため危険。歩道が狭い。	横断歩道設置済 ドライバーへの交通マナーの啓発 児童への交通安全教育及び交通安全指導
7	山本小学校	市道1-40号、2-28号線交差点	交差点に信号機がない。西部山麓線を通る車両の速度が速い。交通量が多い。児童に関わる交通事故が多発している	歩行者を早めに確認できるように待合場所を拡幅 児童への交通安全教育及び交通安全指導
8	山本小学校	国道153号 山本東平交差点～ニツ山交差点	歩道が狭いため、歩行者が車道側にはみ出す恐れがある。	歩道と車道との境を明確にして、ドライバーに注意喚起を促すために歩車道境界ブロック上にラバーポールを設置 交差点で信号待ちの歩行者と車の接触を避けるため山本東平交差点に車止めポストを増設 児童への交通安全教育及び交通安全指導

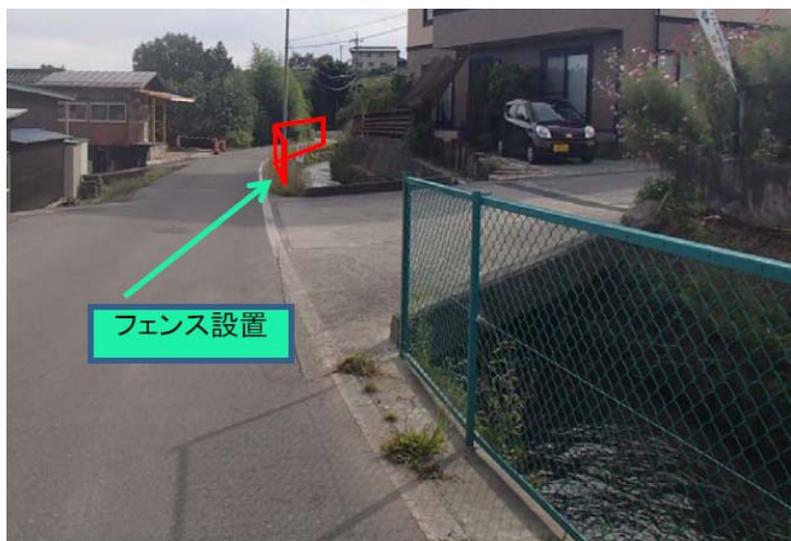
① 国道256号 北方会館前
(車道分離標の補修)



② 国道153号 中村交差点～飯田インター西交差点
(ラバーポールの設置)



③ 市道1-33号線
新井川 山本長佐エ門碑～農免道路区間
(フェンスの設置を継続中)



④ 市道1-28、2-94号、県126号線
名古熊神社前交差点
(待合場所の拡幅)



⑤ 市道1-79号線、国道153号名古屋中央交差点
(市道側に歩道を確保して、国道側の歩道と接続)



コンクリート柵の段差を
解消し、フェンスを移設

乗入口の整備による
水路の有蓋化

ラバーポールを設置

外側線の引き直し

⑥ 県道 上山 コミュニティー広場前
(横断歩道設置済)



⑦ 市道1-40号、2-28号線交差点
(待合場所の拡幅)



待合場所拡幅

⑧ 国道153号 山本東平交差点～二ツ山交差点
(車止めポストの増設とラバーポールの設置)

